



# がん相談支援センターだより



## がん患者セミナーのご案内

治療・療養生活への役立つ情報発信としてがん患者セミナーを開催していますが、コロナ禍は対面開催を見合わせておりました。現在WEBがん患者セミナーとして、当病院ホームページで「抗がん剤・放射線治療中の食事について」を配信しています。好評につき視聴期間を延長しましたので、ぜひご覧ください。

必セミナーテーマ  
「心のケアについて  
～ひとりで抱え込まない  
がんとの向き合い方～」

講師：がん看護専門看護師・公認心理師

日時：10月27日(金) 14:00~15:00

場所：8階セミナー室

(但し、感染状況によっては対面開催ではなく、WEBがん患者セミナーに変更になる場合あり)

※参加費無料  
※事前申込制

今後は、がん患者セミナー後のアンケートで、要望の多かった「心のケア」をテーマにセミナーを企画しています。日ごろのご相談でも「どのようにがん向きあったらよいかわからない」、「心の持ち方が知りたい」などの声が聞かれます。診断時、患者さん、ご家族にとって心に大きな衝撃とストレスがかかりますが、つらい気持ちを誰にも打ち明けられないとおっしゃる方もいます。診断時に限らず、治療や療養中も今後の生活、先の見通しが見えないと不安を抱える方もいらっしゃいます。当センターに来室したり、お電話で話すことで「気持ちが楽になった」とおっしゃる方がいらっしゃいますので、ひとりで悩まず当センターにご相談ください。

## 入院中の学校ってどうしてる？

治療されている中には、長期間の入院が必要になる方もいます。小学生・中学生・高校生の患者さんにとって長期間学校をお休みになってしまうことは避けたい状態です。そんなときに当病院では、東京都立北特別支援学校の病弱教育部門の先生方に病院に来ていただいて授業を行ってもらうという「訪問教育」を実施しています。長期入院が見込まれた場合かつ、主治医から就学の許可が出た場合に北特別支援学校に入院中のみ転籍という形をとらせてもらい、北特別支援学校の生徒として授業を受けてもらいます。退院後は元の学校に籍を戻し入院前と同じように通学することができます。入院中に行っていた授業内容や成績、出席状況なども前の学校に引継ぐこととなりますので、長期間学校を休んでしまった、という状態は避けられるのです。もちろん治療が最優先ですので、体調が悪いときはお休みすることもできます。

コロナ禍のときはタブレットをつなぎオンラインでの授業でしたが、今は対面での授業ができるようになっています。訪問学級は授業だけではなく、入院中でも生活のリズムが作れること、医療者以外との交流の場になることなどのメリットがあり、授業が受けられる方には積極的にご案内しています。詳しくは医療福祉相談室までお問合せください。



☆☆9月就労支援プログラム「ワーキングサポート」開催のお知らせ☆☆

■2023年9月1日(金)・8日(金)・15日(金) 18:00~19:00

※全3回(申込〆切は開催予定日の1週間前までです。)

※感染状況によりWEB開催(ZOOM)に変更になる場合があります。

申し込み二次元コードはこちら⇒



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

東京都板橋区大谷口上町30-1 電話3972-0011(直通)3972-8111(代表)内線3169

相談対応時間 8:30~12:00, 13:00~16:00 予約受付時間 8:30~16:30

掲載記事に関してのご質問等がありましたら、がん相談支援センターまでお問い合わせください。